

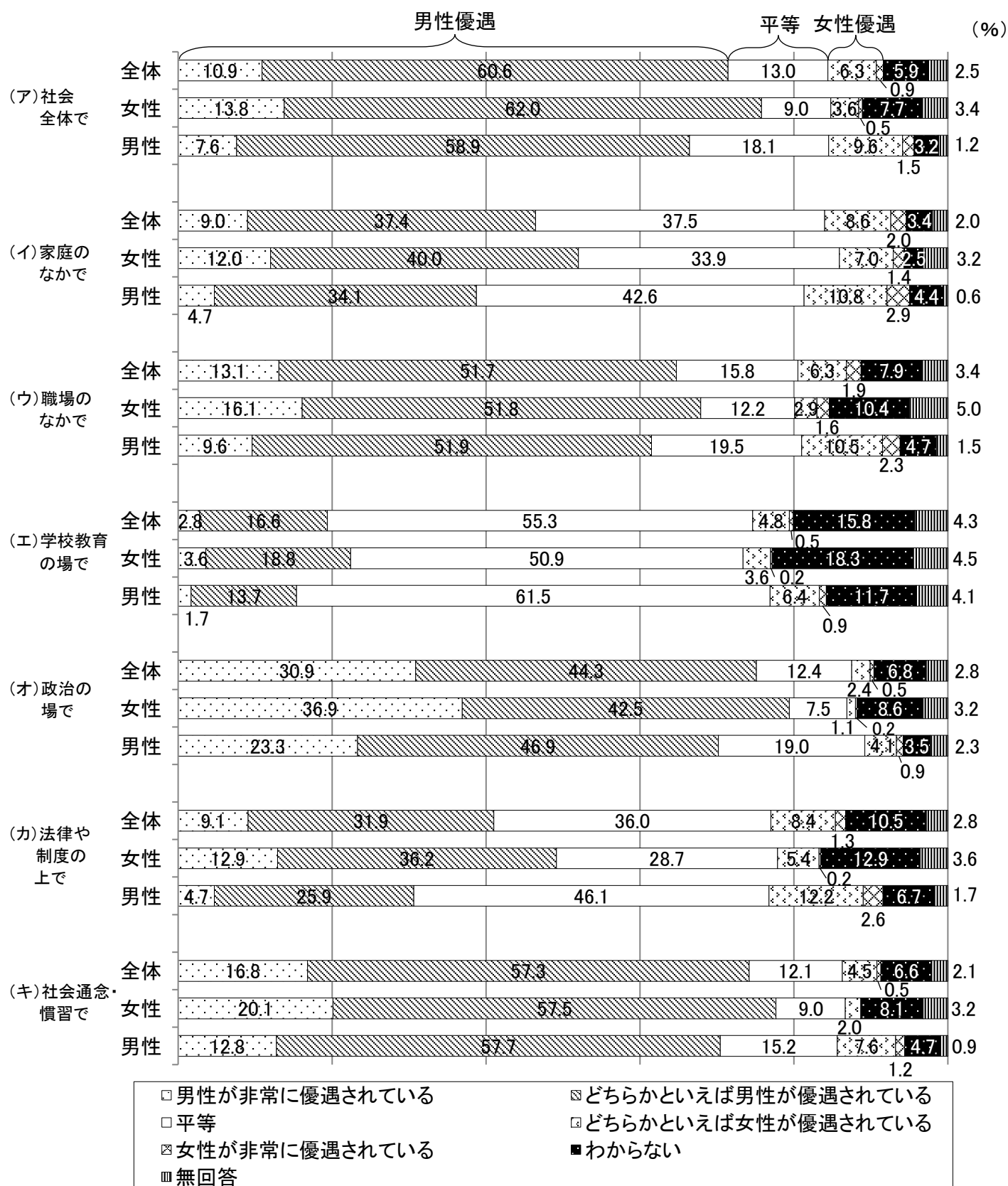
## II 意識

### 1 男女の平等意識

県の調査によると、男女の平等意識は分野によって差があり、男性が優遇されていると感じている割合は全体的には徐々に減ってきてはいるものの、依然として高い傾向にあります。また、その傾向は男性よりも女性に強く表れています。

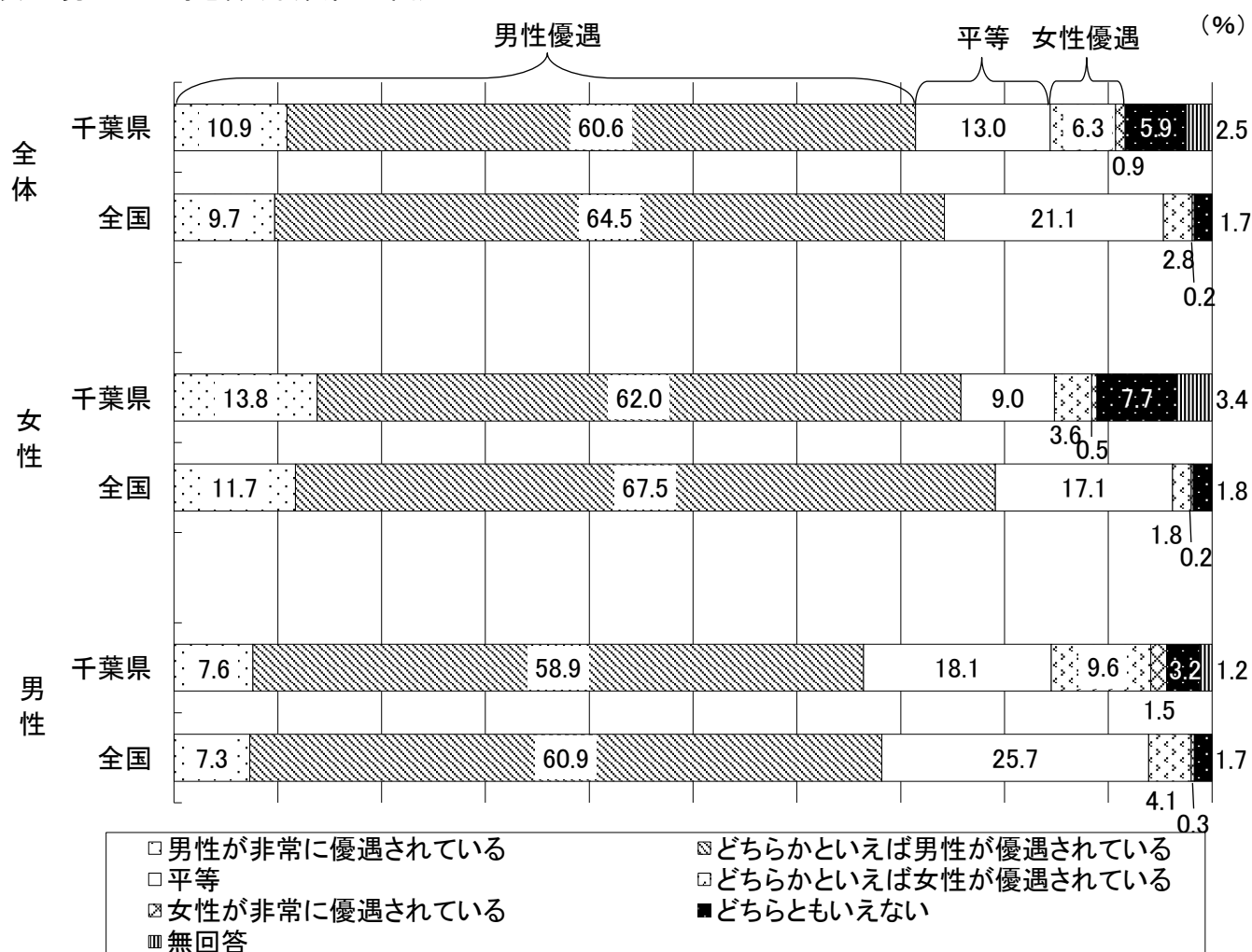
男女の平等意識については、内閣府が行った全国の調査でも同様の結果が出ています。

図表6 男女の平等意識(千葉県)



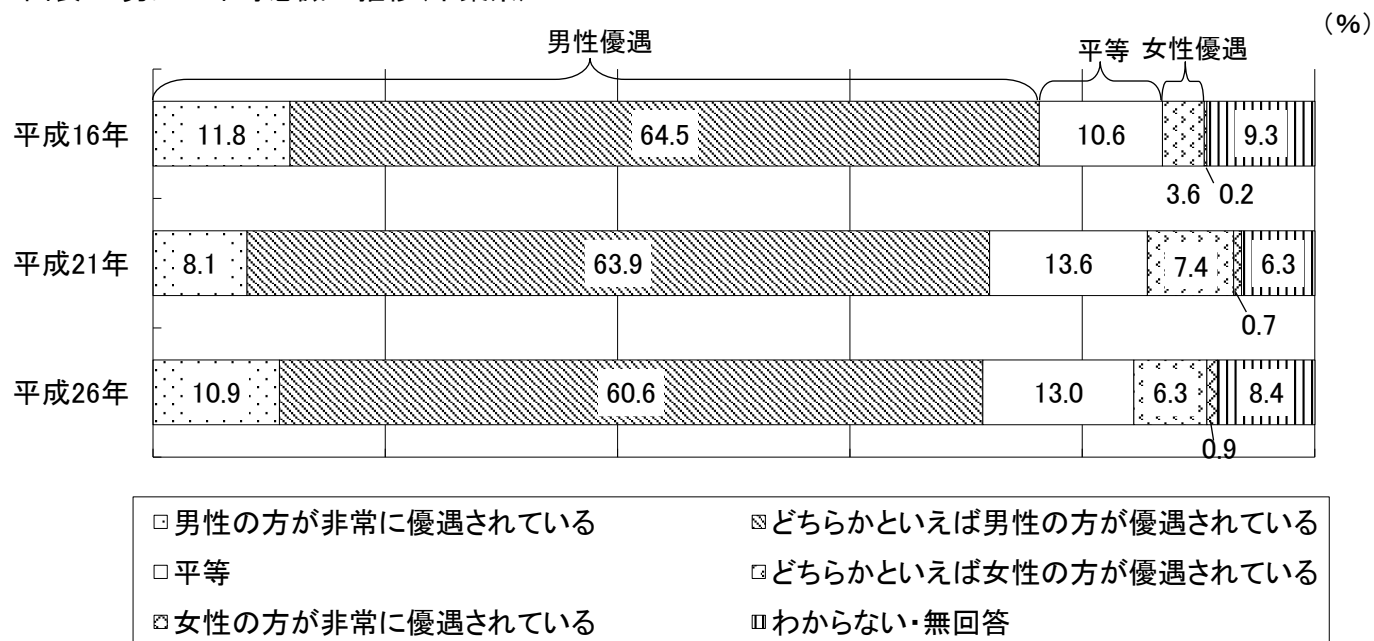
資料出所: 千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

図表7 男女の平等意識(千葉県・全国)



資料出所: 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成28年9月)  
千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

図表8 男女の平等意識の推移(千葉県)

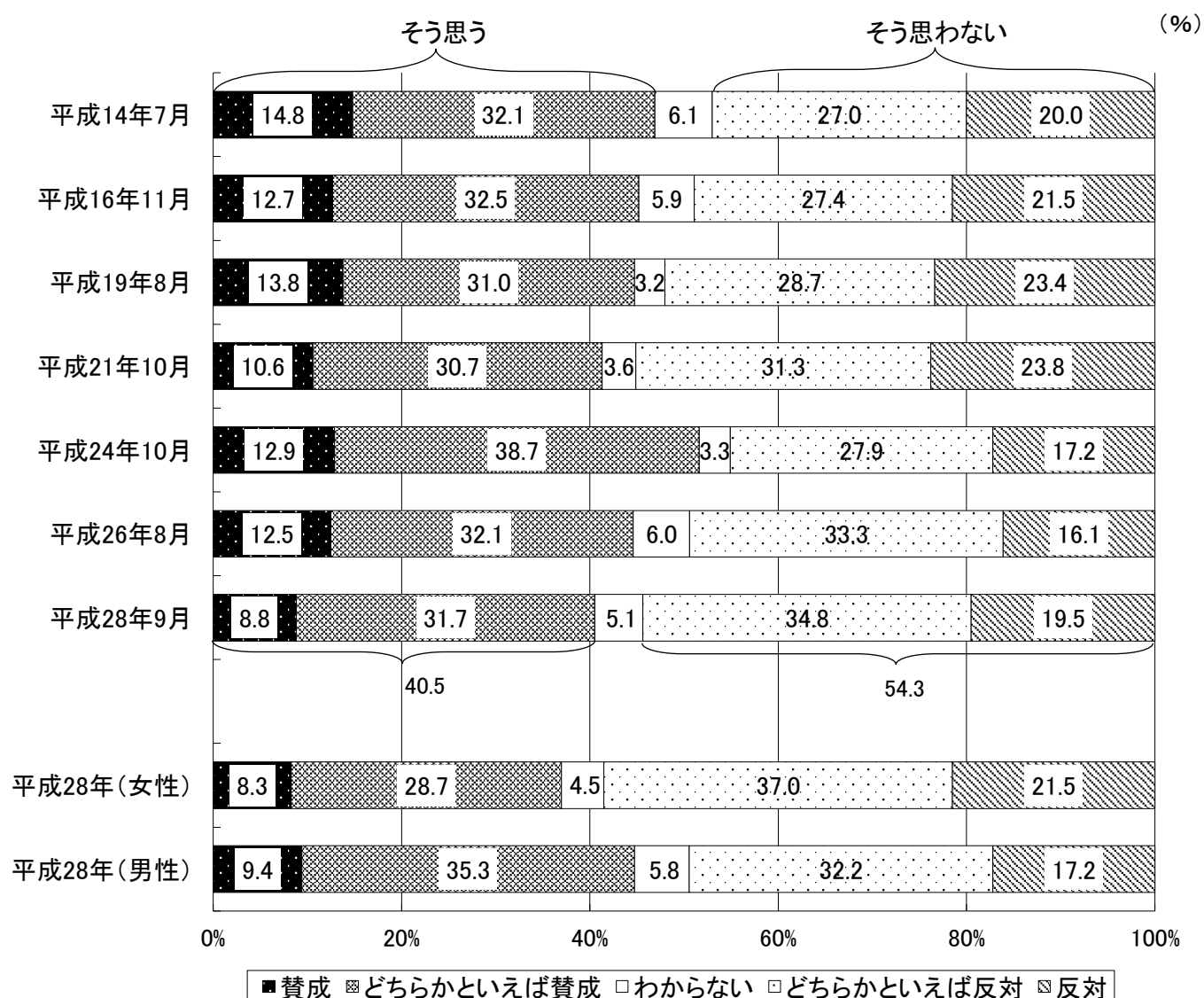


資料出所: 千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

## 2 男女の役割分担

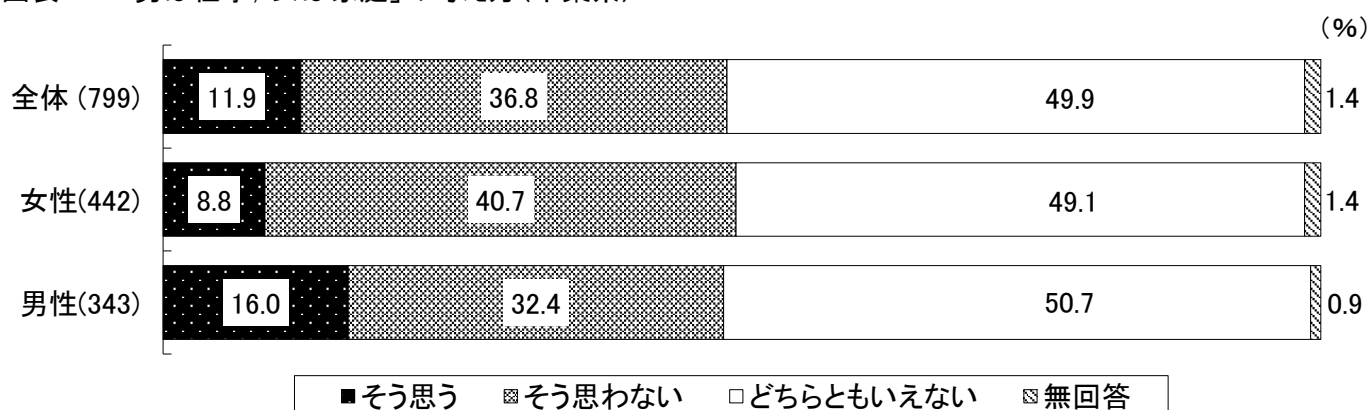
「男は仕事，女は家庭」という固定的性別役割分担意識について，平成28年度の内閣府調査では，『そう思わない』と回答する割合が『そう思う』と回答した割合を上回っています。既婚者に日常的な家庭の仕事について主に誰が分担しているかを聞いたところ，ほとんどすべての項目で『主に妻が行う』の割合が高くなっています。

図表9 「男は仕事，女は家庭」の考え方の推移(全国)



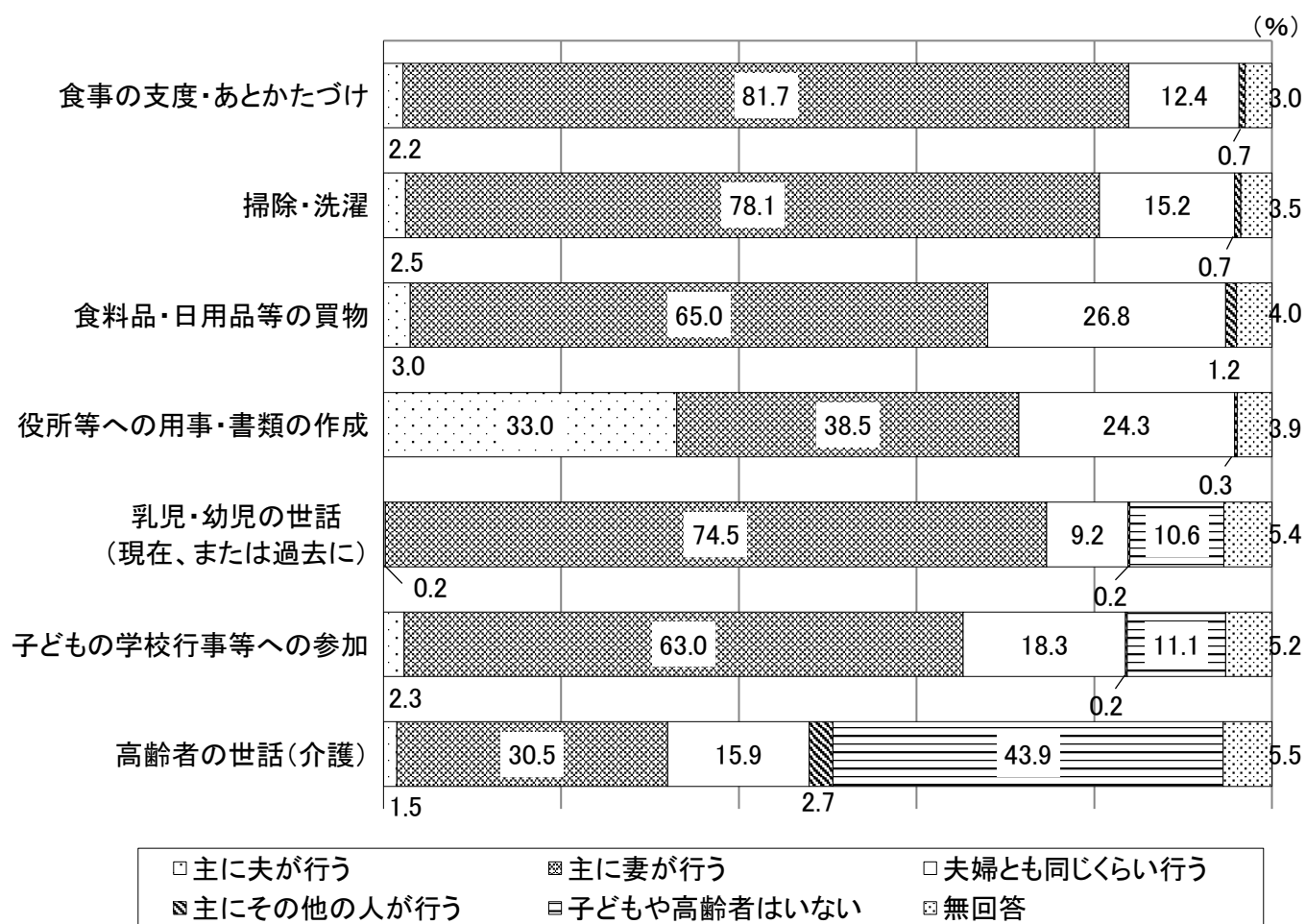
資料出所: 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成28年9月)  
 ※平成26年8月のみ内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」

図表10 「男は仕事，女は家庭」の考え方(千葉県)



資料出所: 千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

図表11 家事等の役割分担(千葉県)



資料出所:千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

図表12 家事関連時間\*(週全体平均)(千葉県・全国)

(単位:時間,分)

	千葉県		全国	
	女性	男性	女性	男性
家事	2:34	0:20	2:24	0:19
介護・看護	0:04	0:02	0:06	0:02
育児	0:25	0:05	0:24	0:06
買い物	0:36	0:19	0:34	0:17
合計	<b>3:39</b>	<b>0:46</b>	<b>3:28</b>	<b>0:44</b>

図表13 曜日別家事関連時間\*(千葉県)

(単位:時間,分)

	女性	男性
平日	3:34	0:35
土曜日	3:52	1:07
日曜日	3:51	1:16

資料出所:総務省「社会生活基本調査」(平成28年)

\*ここでいう「家事関連時間」とは、10歳以上の人で「家事」「介護・看護」「育児」「買い物」を行っている時間を指す。

### 3 子どもの教育における男女平等の意識

子どもの教育における男女平等意識について聞いたところ、『そう思う<sup>※1</sup>』と回答した割合が最も高いのは、「性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要」であり、(92.4%)が『そう思う<sup>※1</sup>』と回答しています。

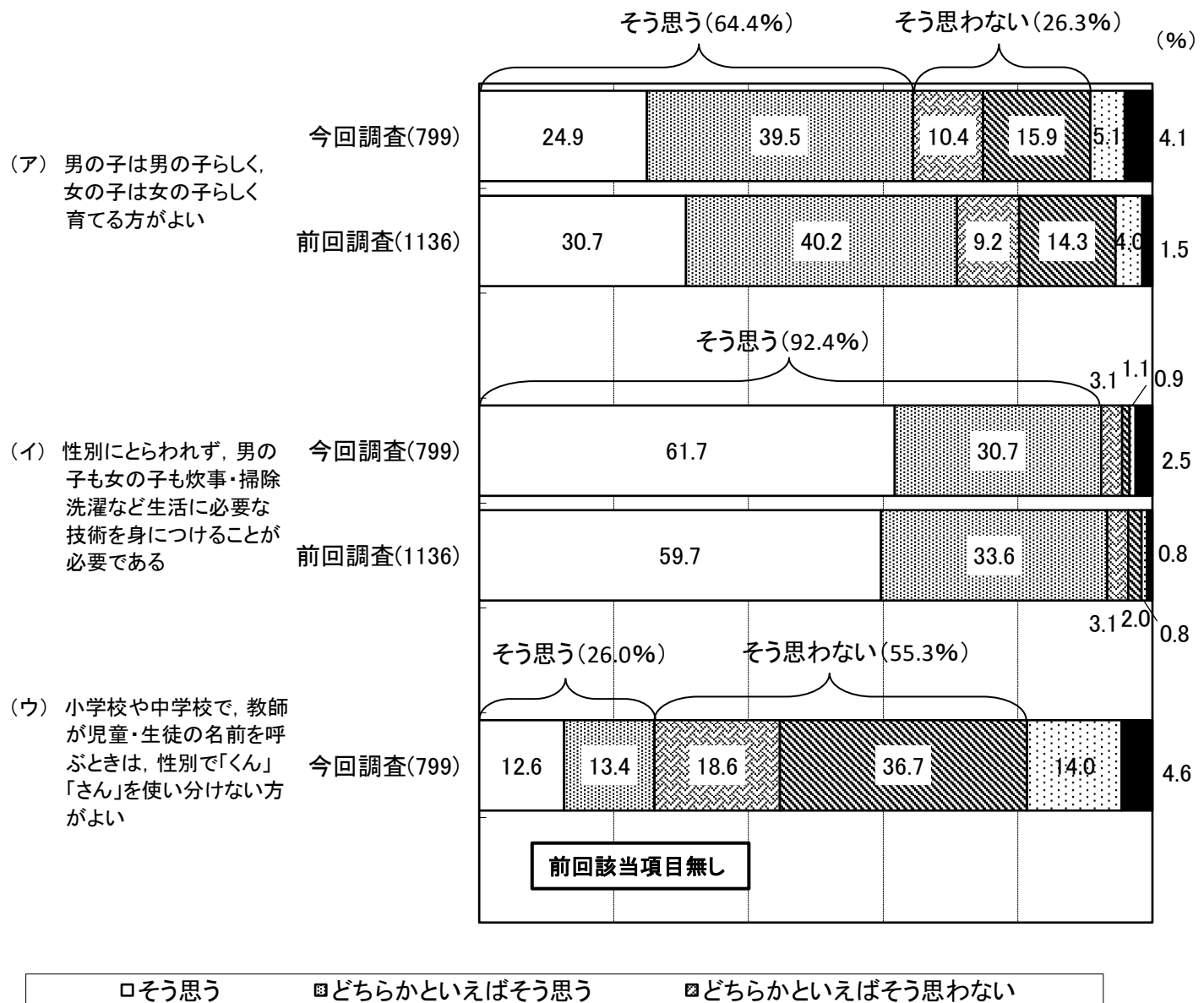
また、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい」では、『そう思う<sup>※1</sup>』(64.4%)で、『そう思わない<sup>※2</sup>』(26.3%)と、『そう思う<sup>※1</sup>』と回答した割合が高くなっています。

「教師が児童・生徒の名前を呼ぶときは、性別で「くん」「さん」を使い分けられない方がよい」は、『そう思う<sup>※1</sup>』(26.0%)、『そう思わない<sup>※2</sup>』が(55.3%)で『そう思わない<sup>※2</sup>』と回答した割合が高くなっています。

※1 ここでいう「そう思う」は、「どちらかといえばそう思う」を含む。

※2 ここでいう「そう思わない」は、「どちらかといえばそう思わない」を含む。

図表14 子どもの教育における男女平等の意識(千葉県)



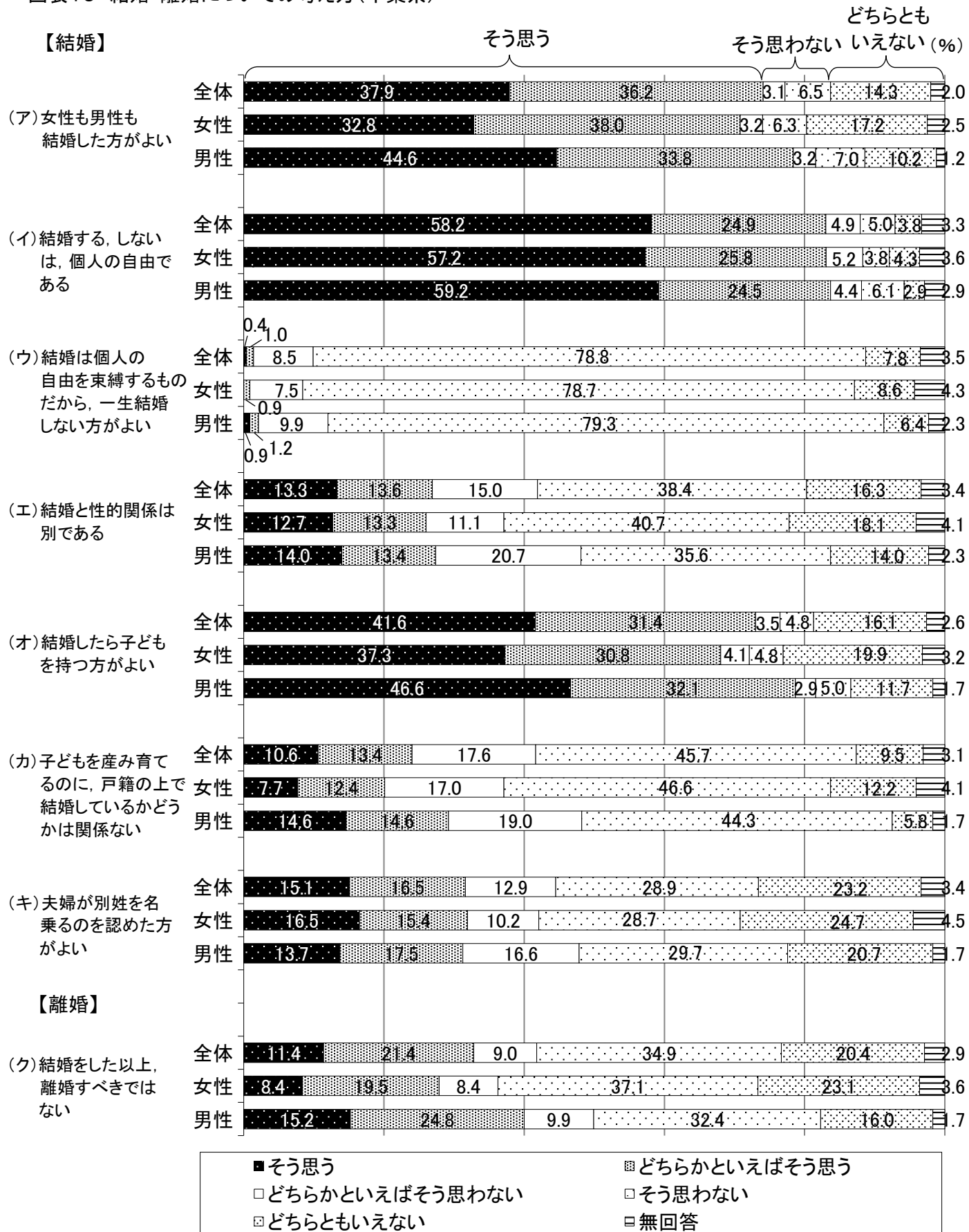
資料出所:千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

### 4 結婚・離婚についての考え方

結婚・離婚についての考え方を聞いたところ、結婚について肯定的意見が多くあるものの「個人の自由」との回答が8割以上と高くなっています。また離婚については、否定的な意見は半数以下となっています。

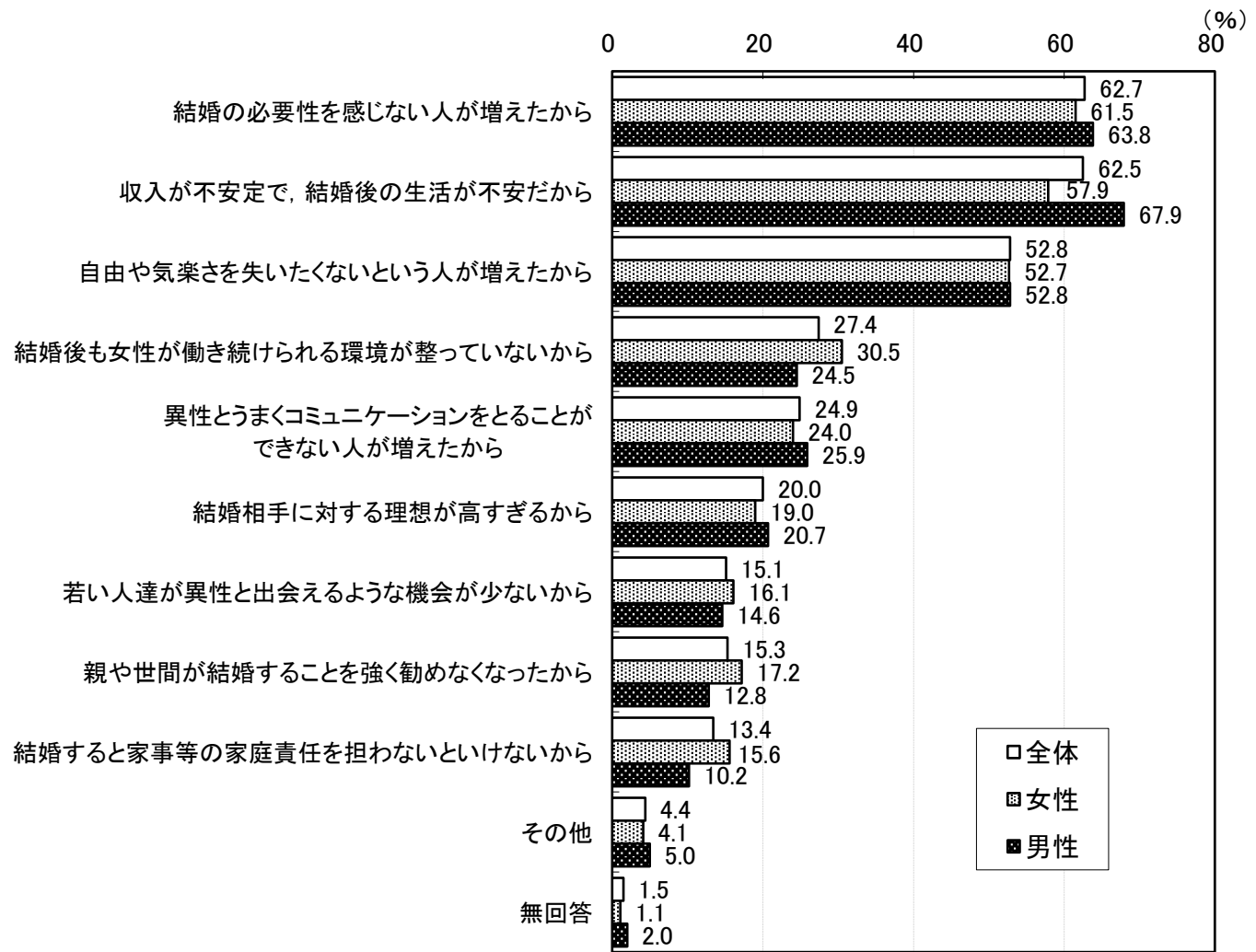
結婚しない（したくてもできない）人が増えている理由については、全体では『結婚の必要性を感じない人が増えたから』（62.7%）との回答の割合が最も高くなりました。

図表15 結婚・離婚についての考え方(千葉県)



資料出所：千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)

図表16 非婚化について(千葉県)



資料出所:千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」(平成26年10月)